

昭和 61 年度農林災害の概要

北大農学部 堀口 郁夫

61 年度に北海道内で発生した主な農林災害は、5 月 30 日午後富良野地方に発生した水害と、9 月 8 日午後の広島町、恵庭市のひょう害である。その他 7 月 29 日知床に山火事が発生している。

全国的な農林災害として、8 月台風 10 号による関東、東北地方に豪雨があり、利根川支流(小貝川)で堤防決壊による水田、畑地の被害および茨城、宮城、福島にも水害が発生した。また、11 月 15 日午後 5 時頃三原山が噴火、農林業に大きな被害が発生した。

1. 5 月 30 日富良野地方の水害

5 月 30 日午後、富良野地方に局地的集中豪雨があり、タマネギ、ニンジン畑に冠水、表土流失などの水害が発生した。特に麓郷では 14 時から 17 時までの雨量が 64 mm であった。そのため畑作物の埋ぼつ、流失、浸水が発生し、その被害面積は、富良野、中富良野で 334 ha であった。主な作物の被害面積は表 1 のとうりである。

表 1 5 月 30 日の富良野地方の水害による畑作物の被害 (北海道庁調べ)

地 方	作 物	被 害 面 積	備 考
富 良 野 地 方	ニ ン ジ ン	85 ha	
	タ マ ネ ギ	81	
	バ レ イ シ ョ	32	
	テ ン サ イ	29	
	オ オ ム ギ	20	
	そ の 他	25	
	計	272 ha	
中 富 良 野 地 方	ニ ン ジ ン	20	
	バ レ イ シ ョ	18	
	そ の 他	23.8	
	計	61.8 ha	
合	計	334 ha	

2. 7月29日知床で山火事

7月29日朝、知床半島、知床岬南方の国有林で山火事発生、4 ha を焼失、8月2日鎮火(北海道新聞より)

3. 9月8日広島町・恵庭市のひょう害

9月8日午後3時頃から約1時間、広島町富ヶ岡、南の里、東の里および恵庭市穂栄・下島松・北島の東西約7 km、南北3.5 kmの地域に降ひょうがあった。降ひょうの程度は、広島町富ヶ岡地区では、午後3時頃から雷とともに断続的に直径2～2.5 cmのひょうが約1時間続いた。恵庭市穂栄地区では午後4時頃から20分間、1～2 cmのひょうが2回にわたって降った。そのため表2に示すように水稻や畑作物に被害が発生し、被害面積は約457 haに及んだ。(資料：降ひょう被害の記録(水稻)、石狩支庁石狩南部地区農業改良普及所)

表2 9月8日の広島町、恵庭市の降ひょうによる作物の直接的被害(北海道庁調べ)

市町名	作物名	被害面積(ha)	被害の状況
恵庭市	水稻	210.00	裂葉、穂の落下(900cm ² :10~60粒)
広島町	〃	136.03	〃 (〃 30粒)
〃	小豆	30.24	裂葉、落葉、枝の折損
〃	馬鈴しょ	21.32	堀取中のいもに裂傷
〃	てん菜	12.52	裂葉、落葉、折損
〃	青刈用とうもろこし	23.31	裂葉、折損、根部裂傷(一部)
〃	だいこん	8.12	〃
〃	にんじん	5.35	果実の裂傷
〃	かぼちゃ	7.77	裂葉
〃	はくさい	0.05	裂葉
〃	ブロッコリー	1.20	葉部、果実ともに折損、裂葉
〃	ほうれんそう	0.10	裂葉
〃	キャベツ	1.20	〃
〃	アスパラガス	0.60	葉部の折損、裂傷
計		456.84	